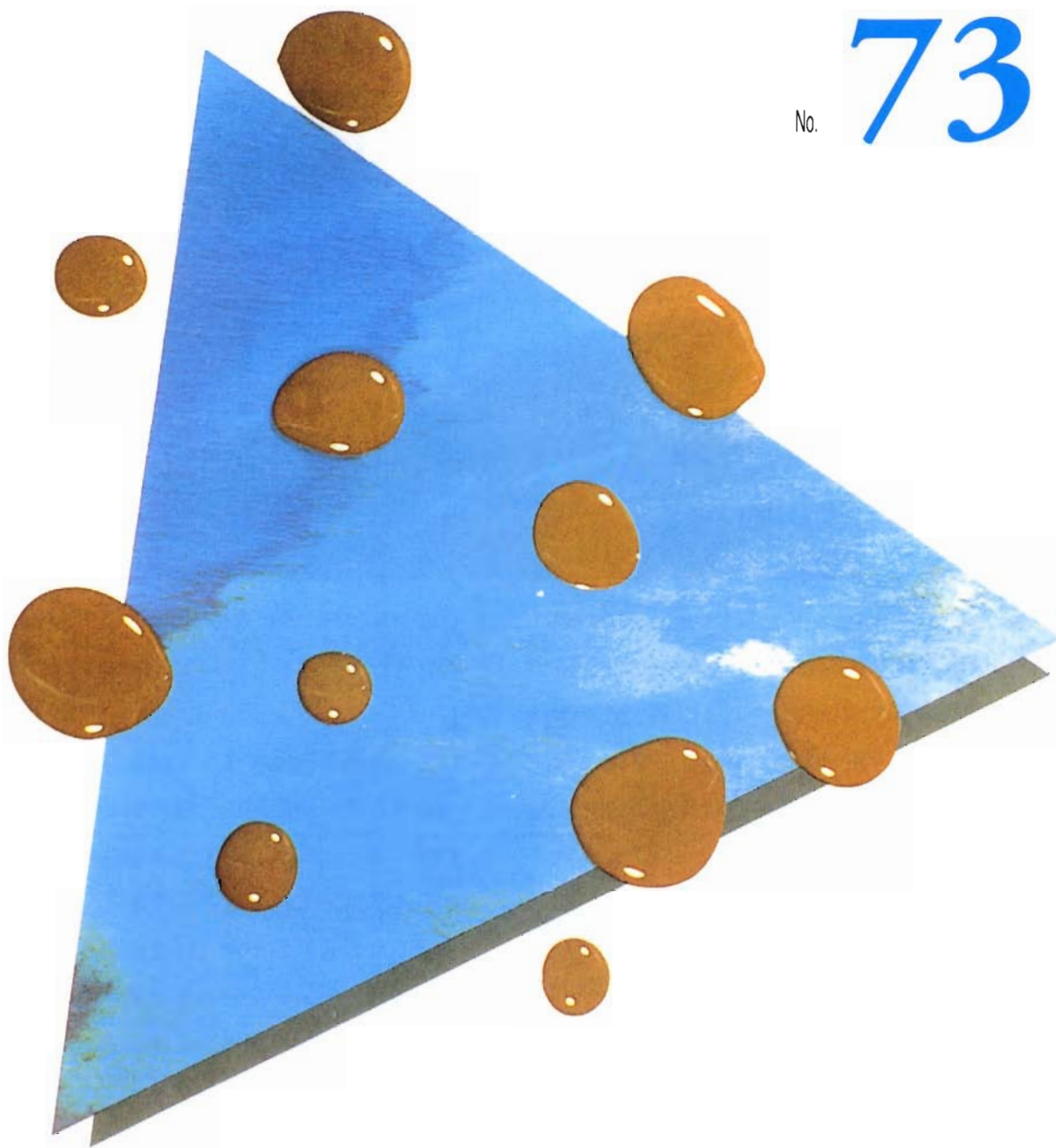


2003 1

海上防災事業者・防除資機材特集

油濁基金 だより

No. 73



財団法人 漁場油濁被害救済基金



伊豆大島で自動車運搬船からの流出油を回収する漁業者
 台風21号を避けるため錨泊していたバハマ船籍の自動車運搬船ファル・ヨーロッパ号は、10月1日颶風に流され波浮港の沖合100m地点に座礁、大量の燃料油が流出し、大島漁業に大きな影響を与えました。この写真は、漁業者が油吸着材を使用して油を囲い込み回収しているところです。なお、同船は11月26日炎上全焼し、今も無惨な姿をとどめています。(写真提供：坂本由之氏)

目 次

(挨拶)

- 1. 年頭に当たって／植村正治1
- 年頭のご挨拶／小松正之2

(寄稿)

- 2. 御前崎沖の貨物船衝突事故による油の流出について／石田孝行6

(特集)

- 3. 海上防災事業者・防除資機材紹介10
 - (1) 海上防災事業者名簿10
 - (2) 海上防災関連事業者名簿14
 - (3) 防除資機材製造販売業者名簿16
 - (4) 防除資機材リスト19
 - ① 油吸着材19
 - ② 油ゲル化剤21
 - ③ 油処理剤22
 - ④ オイルフェンス23
 - ⑤ その他24

(編集後記)

年頭に当たって

(財)漁場油濁被害救済基金
理事長 植村正治

2003年の幕開けを迎え、年頭のご挨拶を申し上げます。

ご案内のように、国内の産業・社会が長期不況のもとで経済のグローバル化、規制緩和、自由化により大きく変革を余儀なくされている中、わが国漁業・漁村も周辺水域の資源状況の悪化と漁獲量の減少、水産物輸入の増大と産地魚価の低落、就業者の減少・高齢化等かつてない難局を迎えております。

このため、漁協系統は、昨年11月に全国漁協代表者集会を開催し、JFグループの事業・組織・経営改革に向けた今後3ヶ年（15～17年度）の運動方針を決定いたしました。これは、漁業・漁村が水産基本計画のもとで、安全・安心な水産食料の供給や多面的な役割を果たしていくとともに、資源の持続的利用の大前提として環境保全運動の推進を掲げ、時代の要請に応える諸般の改革を進めていくことを決意したものであります。

漁協系統は、これまで公害絶滅運動をはじめ石けん使用や植樹運動、海浜清掃運動など海の環境保全に取り組んできましたが、これらの運動を背景に、漁場油濁被害救済制度が先人達のご苦勞により創設され、本年は基金設立28年目を迎えます。本制度が今日まで維持されて参りましたのは、偏に関係拠出団体並びに国、県のご支援ご協力によるものであり、ここに改めて深甚なる謝意を表する次第であります。

この間、防除・清掃事業に対する支弁件数は約940件、漁業被害の救済は160件を越え、金額で41億円強の救済実績を挙げることができまし

た。近年、原因者不明の油濁事故は、保安部署等監視体制の強化や分析・究明技術の向上により減少傾向にありますが、油による海の汚染は未だに後を絶たず、最近5ヶ年の平均でも年間約360件、1日1件の割合で発生しております。昨年3月の鳥取県境港沖の貨物船沈没、6月の香川県小豆島沖の貨物船衝突、7月の鹿児島県志布志湾の大型貨物船座礁、8月の静岡県御前崎沖の貨物船沈没、10月の東京都伊豆大島の自動車運搬船座礁、12月の茨城県日立港離岸堤での貨物船座礁等による油流出事故は、記憶に新しいところであります。

当基金は、原因者不明の油濁事故に対する救済事業のほか、油濁被害対策のための講習会の開催、防除技術の普及、漁場自衛計画指針の策定、漁業影響情報図の作成など関連の指導事業にも取り組んでおります。

今後とも、これら事業内容を拡充のうえ、海の環境と漁場の保全に向け全力を傾注して参りたい所存でありますので、引き続き関係各位のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の一層のご繁栄・ご健勝をお祈り申しあげ、ご挨拶といたします。

年頭のご挨拶

水産庁増殖推進部漁場資源課
課長 小松正之

新年、明けましておめでとうございます。

平成15年の年頭にあたり、皆様には、平素より水産行政にご協力を頂いておりますこと、また、当基金の運営にご尽力とご協力を賜っておりますこと、この紙面をお借りしまして、謹んでお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、原因者不明の漁場油濁については幸いなことに大きな事故は発生しておりませんが、原因者判明の漁場油濁に関しては、いくつかの特徴的な事故が発生しました。

これら事故は原因者が外国の貨物船、便宜置籍船、船主責任保険（PI保険）に未加入等の特徴があり、いずれのケースにおいても対応にあたった地元では初動措置等の対応及び油防除・清掃等に係る経費の捻出などの問題が発生しております。

漁業者は油流出事故が発生した場合、原因者判明・不明にかかわらず自らの漁場を守るためにも自主的に油防除・清掃等を行っております。これは、漁業者にとって漁場は、今現在ばかりでなく、子々孫々に渡って未来へ引き継ぐものであるからに他なりません。

その意味で漁場環境の保全は非常に重要な事項であり、当庁としても、このような認識のもと、漁場環境の保全等の施策に取り組んでいるところであります。

また、これら事項は、行政ばかりでなく、水産関係団体、水産業界も一丸となって取り組む必要があることと考えており、その中で当基金が漁場油濁事故について、油濁に関する豊富な

知見をもとに、漁業関係者等に対して、今まで以上に主導的立場に立って活躍されることを祈念しております。

当庁と致しましては、今後とも当基金に対して適切な指導・監督を行い、当基金の適正な運営が図られるよう、努めていくこととしておりますので、水産行政に対するより一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、本年も関係者のご尽力とご協力により、油流出事故をはじめとする海上災害のない1年となるよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

(社)大日本水産会

会長 佐野 宏哉

港区赤坂1-9-13

三会堂ビル

日本鯉鮪漁業協同組合連合会

代表理事 上田 大和
会長

千代田区九段北2-3-22

かつおまぐろ会館

(社)日本トロール底魚協会

会長 米澤 邦男

千代田区神田小川町3-6

NKビル

(社)全国底曳網漁業連合会

会長 井村 幸二

港区虎ノ門1-21-19

秀和第2虎ノ門ビル

(社)全国沖合いかつり漁業協会

会長 音田 六哉

港区虎ノ門2-7-9

第1岡名ビル

(社)全国まき網漁業協会

会長 相沢 英之

港区虎ノ門2-7-9

第1岡名ビル

(社)全国大型いかつり漁業協会

会長 石田 周而

港区赤坂1-9-13

三会堂ビル

(社)全国さんま漁業協会

会長 保田 綱男

港区赤坂1-9-13

三会堂ビル

(社)全国近海かつおまぐろ漁業協会

会長 守矢 哲

千代田区内神田1-5-4

加藤ビル

全国漁業協同組合連合会

代表理事 植村 正治
会長

千代田区内神田1-1-12

コープビル

謹賀新年

石油連盟

会長 岡部敬一郎

千代田区大手町1-9-4

経団連会館4F

電気事業連合会

会長 藤 洋作

千代田区大手町1-9-4

経団連会館5F

(社)日本鉄鋼連盟

会長 千速 晃

中央区日本橋茅場町3-2-10

鉄鋼会館内

(社)日本経済団体連合会

会長 奥田 碩

千代田区大手町1-9-4

経団連会館

(社)日本電機工業会

会長 谷口 一郎

千代田区永田町2-4-15

電機工業会館

(社)日本自動車工業会

会長 宗国 旨英

千代田区大手町1-6-1

大手町ビル2F

(社)日本貿易会

会長 宮原 賢次

港区浜松町2-4-1

世界貿易センタービル

(社)日本産業機械工業会

会長 相川賢太郎

港区芝公園3-5-8

機械振興会館4F

石油化学工業協会

会長 正野 寛治

千代田区内幸町2-1-1

飯野ビル2F

日本アンモニア協会

会長 大橋 光夫

中央区日本橋茅場町3-5-2

アロマビル3F

日本化学繊維協会

会長 安居 祥策

中央区日本橋本町3-1-11

繊維会館6F

(社)セメント協会

会長 小田切康幸

中央区八丁堀4-5-4

秀和桜橋ビル7F

謹賀新年

(社)日本ガス協会

会長 安西 邦夫

港区虎ノ門1-15-12

日本ガス協会ビル9F

日本財団

会長 曾野 綾子

港区赤坂1-1-2

日本財団ビル

(社)日本船主協会

会長 崎長 保英

千代田区平河町2-6-4

海運ビル6F

日本内航海運組合総連合会

会長 小谷 道彦

千代田区平河町2-6-4

海運ビル8F

(社)日本旅客船協会

会長 鮫島 宗和

千代田区内幸町2-1-1

飯野ビル6F

(寄稿)

御前崎沖の貨物船衝突事故による油の流出について

静岡県農業水産部水産振興室
副主任 石田孝行

本誌、前号（2002年8月、No.72）にて、「P&I保険の概要」が寄稿され、業務の参考に読ませていただきました。

ちょうど同じ頃、静岡県御前崎沖において船舶の衝突による油流出事故が発生し、排出原因者が「P&I保険に未加入」であったことから、防除活動及び事後処理等において、関係者間では様々な苦勞を経験しましたので、その概要をここに報告します。

1 事故及び油流出の経過

・平成14年8月8日（木）夜

御前崎沖において、韓国籍の貨物船「サントラスト」（2,747トン）と日本国籍の貨物船「第2広洋丸」（426トン）が衝突し、貨物船「サントラスト」が沈没しました（乗組員6名死亡、2名行方不明）。沈没船体からは、燃料（115キロリットル搭載）のC重油が流出、駿河湾内に広がったため、清水海上保安部、沿岸市町村、漁業関係者等が防除作業にあたりました。

・8月11日～13日

流出油は、風や海流の影響で奥駿河湾方向へ広がり、西伊豆の北部、沼津市、富士市の海岸へ小規模の漂着がありました。

・8月14日

事故発生から1週間後、沈没船の油流出を止める応急措置が完了し、濃い油の流出は終息しました。しかし、船体の亀裂から断続的に少量の油が湧出したため、現場周辺では薄い油膜が見られる状態が続きました。

・10月下旬～11月下旬

沈没船内の残油の抜き取り作業が行われ、作業の完了をもって、あらたな油流出の可能性がなくなり、現場における防除措置が完了しました。

2 漁業関係者の対応

事故発生から2日後の朝、静岡県漁連は防除活動にあっていた清水海上保安部から油処理剤の使用について了解を求められ、「このままでは漂着の可能性があり、やむを得ない」との判断で承諾しました。

油が向かうと予想される先は、海水浴シーズン真っ最中の西伊豆沿岸、マアジ、ブリ、マダいの養殖生け簀が並ぶ沼津市内浦湾、しらす船曳網漁の優良漁場である駿河湾沿岸、どこに漂着しても、多大な被害は避けられないという状況でした。

漂着までの油の動向は（図1）のとおりで、結果的には、この時期特有の南西風（御前崎沖マリンロボの観測データが活用された）と駿河湾内を反時計回りに向かう潮流の影響を受け、ほぼ予測の範囲内でありましたが、沖合にあるうちに油膜を拡散・消滅できるかどうかが問題でした。

事故発生から3日後、沿岸漂着の可能性が強まったため、県漁連を中心とする漁協系統組織は、船主側の協力要請を確認し、海上において防除活動等を展開しました。

具体的には、8月10～16日の期間に、延べ72隻、461名の漁船と漁業者により、資材（吸着マット、ドラム缶）の手配、漁船による警戒活動、油の回収作業、海水浴場沖でのオイルフェンス

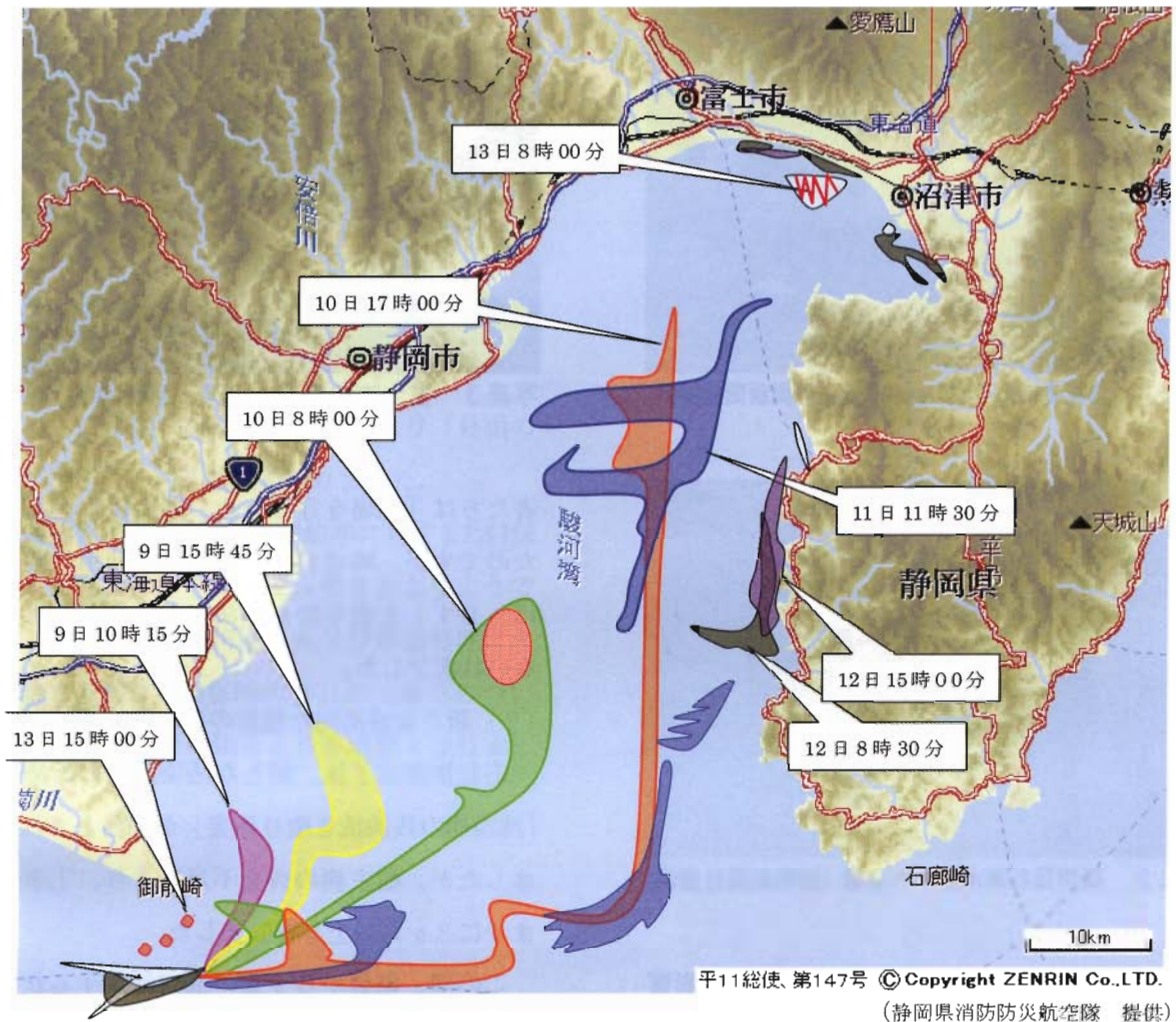


図1

展張等の作業を実施しました（写真1）。

これら漁業者の迅速な協力により、沿岸域への漂着等、相当の被害を回避することができたと推察されます。

3 沿岸域の被害状況

水産業関係では、幸いなことに、魚介類の死亡等、水産物への直接的な被害の発生はありませんでしたが、事故発生後の数日間は防除活動への参加や操業を休止としたため、関係漁業者は、事故により多大な損失を被ったことになります。

また、海水浴場や海岸への漂着はごく小規模で、心配されたほどの被害はありませんでした（写真2、写真3）。

4 県農業水産部の対応

県の行政としては防災局を中心に対応を協議し、水産振興室では、県漁連を通じて関係漁協との情報伝達・収集に努め、資材手配等の連絡調整を行いました。

事態終息後、しらす船曳網漁の再開にあたっては、漁獲物の品質や市場の評価等に対して慎重に対応する必要があることから、8月14日、県防災局のヘリコプターに漁協組合長とともに水産振興室職員が同乗し、上空から漁場の状況を確認しました。また16日には、水産試験場調査船「駿河丸」により、沿岸のしらす漁場において海水の調査を実施し、操業再開に問題ないことを確認しました。

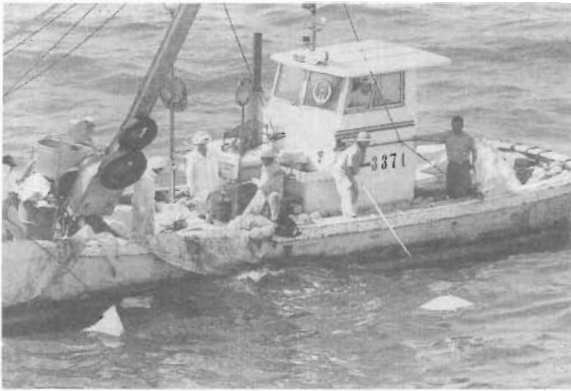


写真1 漁業者による油の回収作業（静岡新聞社提供）



写真3 富士市の海岸へ漂着（静岡県漁連提供）



写真2 西伊豆の海水浴場へ漂着（静岡新聞社提供）

5 原因者がP&I保険未加入であったことの影響

今回の事故は、油の流出量で比較すると日本海ナホトカ号事故の1/80、東京湾ダイヤモンドグレース号事故の1/10程度であり、結果的に大きな被害発生もありませんでしたが、沈没して油の排出原因となった「サントラスト」船主がP&I保険に未加入であったことから、関係者の対応には様々な影響がありました。

（1）防除活動への影響

本県では、行政機関や関係団体で組織された「沿岸排出油防除協議会」による防除マニュアルが整備されていますが、原因者がP&I保険未加入であったため（費用の負担能力に限界）、協議会の長である清水海上保安部から他機関への油防除に対する協力要請が消極的なものとなり、最後まで協議会全体としての防除体制が整いませんでした。

また、海上災害防止センター等専門機関の現場参画が得られず、海上で防除にあたった漁業

者たちは「漁場を守るため」懸命に作業していたのですが、吸着材や油処理剤の使用に関しては、必ずしも効率的な手法がとられたとは言えない状況でした。

（2）新たな流出防止措置の遅れ

応急措置完了後、新たな汚染防止のためには「沈没船の残油抜き取り作業」が急務とされていましたが、船主側の資金不足により、工事着工までに2ヶ月以上を要しました。

この間、亀裂から少量の油が湧出する状態が続き、また、関係者の間では、台風やうねりで船体が揺れ、油が再流出するのではという不安が消えませんでした。

（3）沈没船骸の処理

水深46m付近に沈んだ船骸については、船主側の資金力では撤去等の対応ができないため、海上保安部、県漁連ともに放置状態を容認する見通しとなりました。今後、漁業操業へのトラブルが発生しないよう情報周知等の対策が必要となっています。

（4）費用弁償や損害賠償支払いの不透明

防除費用の弁償や漁業関係者の損害賠償については、今後、船主側との交渉となりますが、船主側の資金状態によっては賠償責任が果たされないことも想定され、今後も関係者が頭を悩ませる日々が続きます。

以上、平成14年11月現在での経過をまとめてみました。

静岡県沖は、我が国の東西を結ぶ海上交通の盛んな海域ですが、これまでは大規模な油流出事故の発生はなく、本格的な防除活動が展開されたのは初めてのことでした。

今回の一連の対応について、危機管理の体制や資材の備蓄量・配備状況・有効活用方法について、反省すべき点が見られたので、今後、関係機関で再検討する必要があります。

被害を最小限に抑えるには、やはり「日頃の備えが大切」という教訓が残りました。

関係業界では、「沿岸航行船舶に対するP&I保険加入義務付け」を要望する動きがあるようですが、事故発生時の防除活動及び事後処理にまで影響を及ぼすP&I保険の存在の大きさについて、あらためて思い知らされる結果となりました。

(特集)

海上防災事業者・防除資機材紹介

(1) 海上防災事業者名簿

会社名	住所	電話番号	FAX番号
相川海運産業(株)	〒260-0832 千葉市中央区寒川町1-114	043-224-1160	043-224-3695
相村建設(株)	〒942-0051 上越市大字下源入186-6	025-543-3456	025-543-3457
秋田海陸運送(株)	〒011-8585 秋田市土崎港西2-5-9	018-845-0185	018-845-4229
伊勢湾防災(株)	〒510-0011 四日市市霞2-1-1四日市港ポートビル4階	0593-61-1020	0593-61-1024
伊藤商事(株)本社 清水営業所 大井川営業所	〒424-0037 清水市袖師町1877-66	0543-65-6565	0543-64-5620
	〒421-0212 静岡県志太郡大井川町利右衛門2683-2	054-622-3388	054-622-2184
上野マリン・サービス(株)	〒230-0035 横浜市鶴見区安善町2-4 昭和シェル石油(株)内	045-521-7415	045-502-8827
大分臨海興業(株)	〒870-0913 大分市松原町3-1-11 大分鉄鋼ビル内	097-558-9588	097-556-3848
大山産業(株)	〒623-0363 綾部市新庄町北52-1	0773-49-1111	0773-49-1149
(株)小名浜油送	〒971-8101 いわき市小名浜字辰巳町36-7	0246-92-2243	0246-92-5300
尾鷲ポートサービス(株)	〒519-3613 尾鷲市瀬木山町6-2	05972-2-6040	05972-2-8072
海洋産業(株)	〒051-0021 室蘭市緑町3-10	0143-23-0333	0143-22-8704
海洋曳船(株)	〒026-0013 釜石市浜町1-1-304	0193-24-3322	0193-24-3320
鹿島埠頭(株)	〒314-0103 茨城県鹿島郡神栖町東深芝8	0299-92-5511	0299-92-8586
紀伊水道防災設備(株)	〒649-0101 和歌山県海草郡下津町下津3062 (株)ハヤシ海運内	073-492-1333	073-492-5045
キソー化学工業(株)	〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭1摩耶業務センタービル5F	078-871-6755	078-871-7993
共栄運輸(株)	〒040-0061 函館市海岸町22-5	0138-42-4121	0138-42-4120
共和マリン・サービス(株)	〒904-2426 沖縄県与那城町平安座6483	098-977-7710	098-977-7725
京浜フェリーポート(株)	〒231-0002 横浜市中区海岸通1-1	045-201-0821	045-201-9534
光和興業(株)	〒850-0862 長崎市出島町3-10	095-824-3638	095-827-5416
(株)近藤海事 東京支店	〒808-0027 北九州市若松区北湊町3-24	093-761-1111	093-761-1001
	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-5	03-5641-2765	03-5641-2795
酒田曳船(株)	〒998-0036 酒田市船場町2-6-7	0234-24-2360	0234-24-2365
(株)ジャパンエナジー船川事業所(株) 男鹿テクノ)	〒010-0511 男鹿市船川港船川字芦沢162-1	0185-23-3111	0185-23-2843
新東運輸(株)	〒801-0841 北九州市門司区西海岸1-4-12	093-331-2168	093-332-0491
新日本石油マリンサービス(株)	〒891-0202 鹿児島県揖宿郡喜入町中名2856-5	0993-45-0171	0993-45-1143
西部マリンサービス(株) 下関事業所	〒756-0885 小野田市西沖5西部石油(株)内	0836-88-1173	0836-88-1175
	〒750-0014 下関市岬之町16-6	0832-22-3411	0832-22-3413

担当部署	活動場所	製造販売	事業内容	具体的事業内容
	東京湾一帯	○	油防除、漏油処理、付帯コンサルタント	油回収船6隻、他定期用船
建設部七木担当	直江津港周辺		建設業	起重機船、クレーン付き台船所有、海上作業従事
業務課	秋田・船川港		油回収防除	海上災害防止センター秋田地区業務、油回収船3隻
オペレーションセンター	伊勢湾周辺		漏油処理、産廃収集運搬処理	作業船8隻(2t~299t、化学消防船)、海上災害防止センター伊良湖・四日市基地業務
清水営業所	駿河湾全域(東伊豆地域含む)	○	油防除、漏油処理	防災船6隻(うち1隻は大井川営業所)、高圧洗浄散布機5台、防災倉庫管理
防災業務グループ	主に横浜港・川崎港		海上防災業務	東京湾内(川崎・横浜港を主とする)海上防災業務(防災船5隻)、排出油の回収・処理
業務グループ、海務担当	大分県付近沿岸		油防除、漏油処理	流出油回収防除、海上災害防止センター油回収装置等基地業務
営業部	全国(日本海側中心)		油防除、漏油・廃油・廃棄物処理	パワープロベスター30台、ポンプ車40台
業務課	特に福島県沿岸他	○	油防除、漏油処理	流出油回収防除
業務部工務防災課			海上防災業務	海上災害防止センター尾鷲基地の資機材管理業務、タンカー荷役作業の際のオイルフェンスの展張、防災作業
海務部海務課	室蘭港及び沿岸		曳船事業(船舶着離岸援助作業)	海上災害防止センター排出油防除資材備付基地
	釜石・宮古港		曳船事業・油防除	海難船曳航、流出油処理(油吸着剤・油処理剤散布)
船舶部運航課	茨城県沿岸	○	油防除・漏油処理	防災型曳船鹿島2隻、大洗、常陸那珂各1隻、オイルフェンス展張船鹿島2隻、海上災害防止センター契約業者
事務局	紀伊水道		油防除、漏油処理	流出油回収防除、油回収装置(スキマーフォイレックスTDS200×2機、油回収バージB50×1)
	全国		有害物質事故対応・防除活動	二次災害防止のための指導、調査、作業
営業部営業課	函館港周辺海域		油防除、漏油処理	流出油回収防除、海上災害防止センター函館支所基地業務
平安座事務所業務課	金武中城港		油防除、漏油処理	流出油回収防除、海上災害防止センター金武基地業務
営業部	京浜、千葉		油防除、漏油処理	イーグル2号、ブルーバード、イーグル8号、流出油回収防除
営業部	長崎港	○	海上防災事業	海上災害防止センター契約防災措置実施者
海事課	全国		サルベージ業	海難救助船6000ps1隻、海難救助船、起重機船2隻(265t、150t)
海務部	日本海北部	○	油防除、漏油処理	海上災害防止センター契約防災措置実施者
榎男鹿テクノ管理課	秋田・船川港		油防除、油処理	海上災害防止センター船川基地業務、オイルフェンス展張船1隻
海務部海事課	北部九州及び瀬戸内海西部		油防除・漏油処理	流出油回収防除作業(曳船兼化学消防船3隻)
総務部、海務部	鹿児島湾内		油防除資機材保管業務、油防除漏油処理業務	海上災害防止センター2時間基地業務(1~3号業務)
防災部	宇部、小野田関門	○	油防除、漏油処理	海上災害防止センター宇部・関門基地業務、防災船4隻

会社名		住所	電話番号	FAX番号
ソーワエンジニアリング(株) 東京事務所 呉事務所 今治事務所	〒658-0025	神戸市東灘区魚崎南町2-8-28	078-452-6431	078-452-6446
	〒105-0011	東京都港区芝公園2-6-15 ネオス東京支店内	03-3434-8691	03-3434-7891
	〒737-0027	呉市昭和町2-1 IHI呉第一工場内	0823-22-2768	0823-22-2768
	〒794-0084	今治市延喜244-1-405	0898-34-8760	0898-34-8760
大興産業(株)	〒231-0002	横浜市中区海岸通3-9郵船ビル	045-212-2061	045-212-2074
(株)ダイトーコーポレーション千葉支店	〒260-8517	千葉市中央区中央港1-9-5	043-238-5113	043-238-5125
敦賀海陸運輸(株)	〒914-0078	敦賀市桜町2-10	0770-22-3111	0770-24-3065
鶴崎海陸運輸(株)	〒870-0108	大分市大字中ノ洲1-8 乙津埠頭ビル内	097-521-1135	097-523-2791
東亜海事(有)	〒900-0034	那覇市東町14-3 浜川ビル3F	098-862-8485	098-862-8482
洞海マリンシステムズ(株)	〒808-0054	北九州市若松区久岐の浜7-1	093-771-2551	093-751-1058
東京汽船(株) 千葉支店 横須賀支店	〒231-0024	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル	045-671-7731	045-671-7737
	〒260-0024	千葉市中央区中央港2-5-3	043-241-6371	043-246-2507
	〒237-0071	横須賀市田浦港町1279-3	0468-61-6121	0468-61-2117
苫小牧海運(株)	〒053-0005	苫小牧市元中野町4-7-1	0144-34-6105	0144-34-6544
内海曳船(株) 松山出張所	〒790-0003	松山市三番町6-3-4 松山パルビル	089-934-1141	089-934-2040
	〒791-8058	松山市海岸通1455-11	089-951-2125	089-951-2158
内外運輸(株) 徳山支店	〒734-0011	呉市中通1-1-7	0823-21-5185	0823-21-0049
	〒745-0845	徳山市五月町9-28	0834-21-4611	0834-22-0081
(株)奈雅井	〒849-4256	伊万里市山代町久原2982	0955-28-2121	0955-28-4541
長崎倉庫(株)	〒850-8691	長崎市出島町2-13	095-824-1265	095-825-7110
(株)西村組	〒099-6404	北海道紋別郡湧別町栄町133	01586-5-2111	01586-5-2700
日興産業(株)	〒734-0015	広島市南区宇品御幸3-9-6	082-253-7111	082-253-6714
日東物流(株)水島事業部	〒712-8691	倉敷市水島川崎通1-1	086-448-3335	086-448-9459
日本サルヴェージ(株) 門司支店	〒143-0016	東京都大田区大森北1-5-1 大森駅東口ビル4F	03-5762-7172	03-5762-7177
	〒801-0804	北九州市門司区田野浦海岸15-73	093-321-0937	093-331-9466
博多港管理(株)	〒810-0075	福岡市中央区港2-3-25	092-781-2390	092-781-8106
早駒運輸(株) 姫路営業所	〒650-0042	神戸市中央区波止場町5-4中央ビル	078-321-0151	078-321-0583
	〒672-8063	姫路市飾磨区須加301姫路ポートセンタービル303	0792-34-0151	0792-34-3326
(株)ハヤシ海運 川崎支店	〒210-0862	川崎市川崎区浮島町7-1東燃ゼネラル石油(株)川崎工場内	044-288-1074	044-299-1446

	担当部署	活動場所	製造販売	事業内容	具体的事業内容
3 1 3)	環境部	全国	○	油防除・漏油処理、油抜き取り作業及び処理、廃油処理	海上災害防止センター広域防災契約、海面に流出した油の回収・処理（回収機材、ポンプ、フェンス、マット、処理剤、一式所有）、海難船内の油抜き取り（各タンク、機関室等）及び廃油処理（移送ポンプ、機材、工具一式所有）、残留油の調査、環境測定、工法決定等のコンサルタント、岸壁、テトラ、遊歩道、その他汚油箇所の脱油、洗浄（特殊洗浄機、薬剤、ボート一式所有）、工事で発生した廃油、油ウエス、ゴミの搬出処理（産廃業者と提携）
4	営業グループ	東京湾内		漏油処理	流出油回収防除、油回収船5隻
5	防災グループ	千葉港全域	○	油防除、漏油処理	海上災害防止センター千葉基地業務、油回収船大3隻、小8隻、タグボート、作業船
5	営業部営業第2課	敦賀港		港湾運送事業他	オイルタンカー船・ケミカルタンカー船などの揚荷役時、オイルフェンス張り・巻き取り作業など
1	ポートサービス課	大分港		油防除、漏油処理	流出油回収防除、海上災害防止センター大分基地業務、油回収船5隻
2		沖縄県一円		油防除、漏油処理 サルベージ	流出油回収防除、救助曳航、海面清掃（流出油防除）、船骸解体撤去
3	営業チーム	北九州・博多・佐世保・長崎・八代港		流出油処理作業	北九州港（2隻）博多港（3隻）佐世保港（2隻）長崎港（3隻）八代港（2隻）、ハーバータグ作業
7 7 7	営業部 営業課	東京湾		油防除・漏油処理、油防除資機材保管、油回収機保管	流出油回収防除、作業船本社13隻、横須賀10隻、海上災害防止センター横須賀基地業務（本社）
4	営業部	苫小牧港	○	防災措置実施者	オイルフェンス展張等による拡散防止、流出油回収・防除、海上災害防止センター苫小牧基地業務、曳航船4隻（消防設備船）
0 3	松山出張所	松山周辺		曳船業	海上災害防止センター油回収装置保管業務
0	徳山支店防災課 防災課	徳山下松		油防除、漏油処理	流出油回収防除、油回収装置一式、海上災害防止センター徳山下松基地業務
	海務部海務課	伊万里港 一円		油防除、漏油処理	流出油回収防除、海上災害防止センター伊万里基地業務
	船舶部	長崎港周辺		倉庫業、船舶代理店業	海上災害防止センター長崎基地業務
	工務部	北海道	○	建設業	上木、港湾事業
	営業部	広島湾		油防除・漏油処理	流出油回収防除
	船舶グループ港運チーム	水島		油防除・漏油処理、有害液体物質等の防除	海上災害防止センター基地業務
	本社業務部 営業部	全国		海難救助・防油・油防除・漏油処理	海難船の救助、漏油箇所の防油、流出油回収防除、大型油回収装置（TRANSREC250）保管管理（門司）
	防災事業所	福岡湾及び付近海域		油防除、漏油処理	流出油回収防除、オイルフェンス展張船1隻、作業船7隻
	営業部	主に神戸港 瀬戸内海（東部地区）		油防除、漏油処理、曳船業	海上災害防止センター姫路基地委託業務、流出油回収防除、防災艇1隻、油回収装置一式
	業務部船舶課	京浜、川崎港・大師運河		海上作業業務	作業船4隻

会社名	住所	電話番号	FAX番号
東日本タグポート(株)	〒039-1162 八戸市豊洲3-11	0178-71-1512	0178-43-1353
深田サルベージ建設(株)	〒552-0021 大阪市港区築港4-1-1 辰巳商会ビル	06-6576-1871	06-6577-2111
東京支社	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-8-7 辰巳ビル	03-5213-5581	03-5213-5585
関東支店	〒231-0005 横浜市中区本町1-8 大宗パークビル	045-212-1005	045-650-1001
名古屋支店	〒455-0051 名古屋市港区中川本町6-1-53	052-661-9416	052-659-1491
大阪支店	〒552-0021 大阪市港区築港4-1-1 辰巳商会ビル	06-6576-1881	06-6577-2112
中国支店	〒737-0823 呉市海岸3-14-15	0823-22-5100	0823-20-0080
四国支店	〒760-0030 高松市玉藻町7-21 城東ビル	087-851-5301	087-826-1573
九州支店	〒801-0804 北九州市門司区野浦海岸1-26	093-321-4164	093-322-1140
福島汽船(株)	〒971-8101 いわき市小名浜字渚254	0246-53-5836	0246-92-2641
富士サルベージ(株)	〒040-0051 函館市大町8-25	0138-26-3911	0138-27-2870
防災特殊曳船(株)	〒260-0024 千葉市中央区中央港2-4-3	043-243-0825	043-243-0882
北陸曳船(株)	〒926-0015 七尾市矢田新町二部162-3	0767-53-8211	0767-53-8344
三国海陸興業(株)	〒913-0031 福井県坂井郡三国町新保96-1-11	0776-81-3819	0776-82-6556
三国屋建設(株)	〒314-0112 茨城県鹿島郡神栖町知手中央2-1-2	0299-96-5068	0299-96-5098
三国屋サルベージ(株)	〒136-0082 東京都江東区新木場1-14-2	03-3522-6346	03-3522-6440
千葉事務所	〒260-0832 千葉市中央区寒川町2-60-4	043-263-3461	
山九(株)	岩国支店 〒740-0002 岩国市新港町5-47	0827-22-3915	0827-24-2576
	泉北支店 〒595-0054 泉大津市汐見町111-4	0725-22-9039	0725-22-9139
稚内港運(株)	〒097-0005 稚内市大黒5-5-5	0162-22-3233	0162-22-4402

(2) 海上防災関連事業者名簿

会社名	住所	電話番号	FAX番号
昭和航空(株)	〒542-0081 大阪市中央区南船場2-11-9	06-6271-0600	06-6251-6478
高知事業所	〒783-0093 南国市物部 高知空港内	088-863-6825	088-863-6815
八尾事業所	〒581-0043 八尾市空港2-12-2	0729-94-6360	0729-94-7865

号	担当部署	活動場所	製造販売	事業内容	具体的事業内容
353	業務部	八戸・むつ小川原・東北一円		油防除・漏油処理	流出油処理装置保持船5隻、海上災害防止センターとの契約（主として2号業務）
111 585 001 491 112 080 573 140		全国		流出油対応（全支店、出張所）	海難救助、海洋土木、橋梁架設、鉄鋼構造物運搬・組立・据付、重量物荷役、曳航、バージ輸送等
641	運航管理部	小名浜港、相馬港、福島県沿岸		海上防災業	流出油防除、油処理剤搭載曳き船9隻（1隻は油回収機搭載）
870	工事部	北海道、東北（主に北海道南部）		油防除・漏油処理	流出油回収防除、作業船15隻
882	業務部	千葉	○	漏油処理	防災曳船2隻、曳船1隻
344		七尾港及び能登半島一円		港内曳船作業	3100馬力曳船2隻で七尾港内の曳船作業
556	海事部	福井港一円		油防除・漏油処理	流出油回収防除、防災船兼曳船1隻、作業船兼交通船1隻
098	工務管理部	関東東岸		油防除・漏油処理	流出油回収防除、油処理作業船15隻（回収装置無）、海上災害防止センター銚子地区契約指定業者
440	サルベージ部	関東一円及全国		建設業、海難救助・船骸撤去、油防除・漏油処理	流出油回収防除、油止め、油抜き取り、作業船4隻
576 139	営業グループ 営業グループ	岩国、大竹港近辺 大阪湾		油防除・漏油処理	流出油回収防除、油回収船2隻 海上災害防止センター岩国（泉北）基地業務
402		沿海、稚内港内		油防除・漏油処理	海上災害防止センター契約防災措置実施者

号	担当部署	活動場所	製造販売	事業内容	具体的事業内容
178 315 365	営業部	全国		航空機賃貸	航空機による事件海域の調査・視察（4機）、油処理剤空中散布（2機）、航空会社の全国ネットワークにより全国ほとんどの地域で活動可能

(3) 防除資機材製造販売事業者名簿

会社名	住所	電話番号	FAX番号	担当部署	防災事業	種別
相川海運産業(株)	〒260-0832 千葉市中央区寒川町1-114	043-224-1160	043-224-3695		○	油吸着材 油処理剤 オイルフェンス その他
阿南電機(株) 東京営業所 四国営業所	〒530-0041 大阪市北区天神橋3-6-26扇町パークビル 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目24-1遠山ビル4階 〒779-1620 阿南市福井町大原356-18	06-6353-6640 03-5333-4871 0884-34-3280	06-6353-6615 03-5333-4873 0884-34-2869	営業企画部		油吸着材 油ゲル化剤
(株)アルファジャパン (有)アルファ名古屋	〒112-0001 東京都文京区白山4-7-15 〒492-8219 稲沢市稲葉2-4-32	03-3947-5371 0587-33-5052	03-3947-5391 0587-33-5058	営業部		油吸着材 油ゲル化剤 その他
出光ユニテック(株)	〒112-0002 東京都文京区小石川1-2-1出光後楽園ビル	03-5800-3707	03-5800-3754	営業三課		油吸着材
伊藤商事(株) 大井川営業所 田子の浦営業所	〒424-0037 清水市袖師町1877-66 〒421-0212 静岡県志太郡大井川町利右衛門2683-2 〒417-0015 富士市鈴川町10-1	0543-65-6565 054-622-3388 0545-33-1133	0543-64-5620 054-622-2184 0545-32-1195	清水営業所		油吸着材 油処理剤 油ゲル化剤 オイルフェンス
上野マリンサービス(株)	〒230-0035 横浜市鶴見区安善町2-4昭和シェル石油株内	045-521-7415	045-502-8827	防災業務グループ	○	油吸着材 油処理剤
(株)エクセノヤマミズ 横浜事業所 西日本支店	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-4-2 〒236-0003 横浜市金沢区幸浦2-11-2 〒650-0024 神戸市中央区海岸通5番地	03-5201-4651 045-784-5061 078-334-7801	03-5201-4658 045-784-5057 078-334-7803	船舶部、環境資材部		油吸着材 油処理剤 オイルフェンス
太田工業(株)	〒651-1431 西宮市山門町阪神流通センター1-102	078-903-0433	078-903-0744			オイルフェンス
(株)小名浜油送	〒971-8101 いわき市小名浜字辰巳町36-7	0246-92-2243	0246-92-5300	業務課		油吸着材 油処理剤 油ゲル化剤 オイルフェンス
鹿島埠頭(株)	〒314-0103 茨城県鹿島郡神栖町東深芝8	0299-92-5551	0299-92-8586	船舶部運搬課		油吸着材 油処理剤
ガ德里ウス(株)	〒107-8302 東京都港区赤坂5-2-39	03-3224-3419	03-3224-3427	機械事業本部 特殊機械部		オイルフェンス その他
(株)カナエ 大阪支店 名古屋支店 福岡支店	〒105-0013 東京都港区浜松町2-10-2カナエ本社ビル 〒543-0027 大阪市天王寺区筆ヶ崎町4-11 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-2-28 〒812-0022 福岡市博多区神屋町5-5	03-3432-5411 06-6779-3341 052-201-7907 092-271-3611	03-3433-7396 06-6779-3346 052-201-7910 092-271-5611	東京支店		オイルフェンス 油吸着材 油ゲル化剤
(株)カネヤス	〒750-0322 山口県豊浦郡菊川町大字榑崎644-1	0832-88-2111	0832-88-2117	環境機器事業部		その他
(株)共栄社	〒442-8530 豊川市美幸町1-26	0533-84-1221	0533-84-1220	特機営業部		油ゲル化剤
呉共同機工(株)第二工場	〒827-0003 田川市白鳥工業団地D-2-1	0947-46-3316	0947-46-3319	化成部		油処理剤
光和興業(株)	〒850-0862 長崎市出島町3-10	095-824-3638	095-827-5416	営業部	○	油処理剤 油吸着材 オイルフェンス
酒田曳船(株) 能代事務所	〒998-0036 酒田市船場町2-6-7 〒016-0807 能代市大森山1-6東北ポートサービス(株)能代営業所内	0234-24-2360 0185-52-0008	0234-24-2365 0185-52-0008	海務部	○	油吸着材 油処理剤
シバタ工業(株)	〒674-0082 明石市魚住町中尾1058	078-946-1515	078-946-0528			オイルフェンス
(株)城南電器工業所 中四国営業所 京都営業所	〒709-0441 岡山県和気郡和気町衣笠731-2 〒611-0041 宇治市横島町吹前町49-3	0869-92-9311 0774-28-1181	0869-92-9322 0774-28-1183			油吸着材
鈴英(株)	〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-11-14	03-3916-7651	03-3916-7302	海洋商品部		オイルフェンス
住友電気工業(株)	〒541-0041 大阪市中央区北浜5-15住友ビル	03-3423-5783	03-3423-5784	ハイブリッド製品事業部		オイルフェンス
西部マリンサービス(株) 下関事業所 西戸崎事業所	〒756-0885 小野田市西沖5西部石油株内 〒750-0014 下関市岬之町16-6 〒811-0323 福岡市東区西戸崎3-4-15	0836-88-1173 0832-22-3411 092-603-0361	0836-88-1175 0832-22-3413	防災部	○	油吸着材 油処理剤 オイルフェンス その他

会社名	住所	電話番号	FAX番号	担当部署	防災事業	種別
ゼネラルマシズ(株)	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町18-9-10ビル	03-3668-7501	03-3668-7504	本社外国部		油処理剤 その他
ソーワエンジニアリング(株) 東京事務所 呉事務所 今治事務所	〒658-0025 神戸市東灘区魚崎南町2-8-28 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 ネオス東京支店内 〒737-0027 呉市昭和町2-1 IHI呉第一工場内 〒794-0084 今治市延喜244-1-405	078-452-6431 03-3434-8691 0823-22-2768 0898-34-8760	078-452-6446 03-3434-7891 0823-22-2768 0898-34-8760	環境部	○	油吸着材 油処理剤 油ゲル化剤 オイルフェンス その他
第一衛材(株)	〒769-1696 香川県三豊郡豊浜町和田浜1610-2	0875-52-3131	0875-52-2328	開発事業部		油吸着材
第一工業製薬(株)	〒103-0027 東京都中央区日本橋3-12-1 三木ビル3F	03-3274-6056	03-3274-6845	産業資材東部営業部		油処理剤
株ダイトーコーポレーション千葉支店	〒260-8517 千葉市中央区中央港1-9-5	043-238-5113	043-238-5125	防災グループ	○	油吸着材 油処理剤 オイルフェンス その他
タカハ商事(株)	〒825-0004 田川市大字夏吉竹見467-1	0947-45-5562	0947-45-5617	業務部		油吸着材
(株)タナカ商事 東京営業所	〒003-0801 札幌市白石区菊水上町1条1丁目325-5 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-20-5石川ビル3F	011-815-3601 03-3665-3765	011-815-3605 03-3665-3765			油吸着材 オイルフェンス
(株)テスコ 本社 東京事務所	〒253-0041 茅ヶ崎市茅ヶ崎3-3-5 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-2-5CTNビル	0467-82-2165 03-5256-5791	0467-87-8808 03-5256-5797	営業部		油処理剤 油ゲル化剤
(株)テトラ	〒160-8350 東京都新宿区西新宿6-3-1新宿アイランドウイング	03-3342-0160	03-3342-8995	環境景観部		その他
寺田タカロン(株)安城工場 東洋ゴム工業(株)大阪本社 東京本社	〒446-0007 安城市東栄町馬捨場1 〒550-8661 大阪市西区江戸堀1-17-18 〒171-8544 東京都豊島区高田2-17-22	0566-97-8700 06-6441-7043 03-5955-1201	0566-98-4745 06-6445-2225 03-5955-1250	営業課 引布製品販 売部		油吸着材 オイルフェンス
東レ・ファインケミカル(株) 大阪支店	〒279-0011 浦安市美浜1-8-1 〒530-8222 大阪市北区中之島3-3-3	047-350-6202 06-6445-9707	047-350-6091 06-6445-9708	機能部材営業部 機能部材営業部		油吸着材
同和化学(株)	〒239-0836 横須賀市内川1-6-2	0468-35-6553	0468-35-6144	営業部		油処理剤
苫小牧海運(株)	〒053-0005 苫小牧市元中野町4-7-1	0144-34-6105	0144-34-6544	営業部	○	油吸着材 油処理剤 オイルフェンス
中村船具工業(株)	〒232-0072 横浜市南区永田東3-6-15	045-713-5481	045-713-8373	オイルフェンス部		オイルフェンス
(株)西村組	〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町133	01586-5-2111	01586-5-2700	工務部		その他
日華化学(株)	〒910-8670 福井市文京4-23-1	0776-25-8562	0776-24-0397	スペシャリティケ ミカルカンパニー		油処理剤
日本油化工業(株) 神戸営業所	〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9郵船ビル3階 〒652-0822 神戸市兵庫区西出町1-6-14	045-201-8867 078-652-9905	045-201-8358 078-652-9906	営業1部		油吸着材 油処理剤 油ゲル化剤 オイルフェンス
(株)ネオス 東京支店	〒650-0001 神戸市中央区加納町6-2-1 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15	078-331-9381 03-3434-7821	078-331-9319 03-3434-7897	神戸営業部 東京営業部		油吸着材 油処理剤 オイルフェンス
(株)パーカーコーポレーション	〒103-0027 東京都中央区日本橋人形町2-22-1	03-5644-0650	03-5644-0651	化学品2部		油吸着材 油処理剤
(株)ブリヂストンIPT	〒150-0011 東京都渋谷区東1-32-12	03-3797-8922	03-3797-6011			オイルフェンス
防災特殊曳船(株)	〒260-0024 千葉市中央区中央港2-4-3	043-243-0825	043-243-0882	業務部	○	油吸着材 油処理剤
平成ポリマー(株) ダン産業(株)	〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-9-10上野ビル 〒832-0805 福岡県山門郡三橋町大字磯島238	03-3639-1754 0944-73-5191	03-3639-1037 0944-73-5994	技術G、総 務G		油吸着材
(株)マツイ	〒106-8641 東京都港区麻布台2-4-7	03-3586-4141	03-3224-2410	東京第1営業部		その他
(株)松本興産(株) 東京営業所 名古屋営業所	〒550-0005 大阪市西区西本町1-2-14岡島ビル8F 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町86 新江戸橋ビル4F 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-17-19名古屋長和ビル8F	06-6538-0092 03-3662-1486 052-201-9640	06-6538-0096 03-3668-5305 052-231-3409	大阪営業所		油処理剤 油吸着材 オイルフェンス
松本油脂製薬(株)	〒581-0075 大阪府八尾市洪川町2-1-3	0729-91-1001	0729-94-8812	営業管理部		油処理剤

会社名	住所	電話番号	FAX番号	担当部署	防災事業	種別
(株)ユウホウ	〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-16フジタ東洋紡ビル7階	06-6348-4315	06-6348-4309	不織布事業部		油吸着材
ユニセル(株)	〒541-0054 大阪市中央区南本町1-6-7 帝人ビル	06-6268-2062	06-6268-2064	販売部		油吸着材

(4) 防除資機材リスト

① 油吸着材

会社名	商品名	型式承認	内容・特徴
相川海運産業(株)	オイルプロッター	○	マット、長尺、万国旗型
	オイルスキミングネット		OSN-2、ポリプロピレン製
	カクイ製オイルスキミングネット		OSN-K、天然繊維
阿南電機株式会社	オイルスネアー		高粘度油（C重油等）専用、米国パーカーシステムズ社、幅約3mmのポリプロピレン製、紐の束でループを構成、高粘度油を捕獲、15mのロープに30ヶ取り付け、定置網・養殖場での油の防御、囲い込んで浮遊する油・油塊の回収、岩場・磯や砂浜等での油の除去、ナホトカ号・コープベンチャー号等からC重油の回収で実績、焼却しても有毒なガスは発生しない
	ラバラライザー		中・低粘度油（A重油等）専用 米国ハズマット・レスポンス・テクノロジー社、粒状ゲル化剤ラバラライザーをロープ状・マット状の袋に充填したもの、長さ15m低粘度重油や高粘度油が回収された後に残った薄い油膜の除去に有効
(株)アルファジャパン	P-554MAXXソルベントJ-50		マット、長尺物、ポリプロピレン長繊維、短繊維の三重構造、油だれ少ない、焼却時有毒ガスは発生しない、植物油、軽質油、重油
	アルファゲルマット		マット、長尺物、万国旗型、油、石油系溶剤をゲル化、油だれ無し、焼却時有毒ガスは発生しない
出光ユニテック(株)	出光ルブリタック650	○	マット、650mm角、合成繊維製、焼却時有毒ガス発生せず、特に高粘度油用
	出光ルブリタック500	○	マット、合成繊維製、焼却時有毒ガス発生せず
	出光アイセーブ4065R (H)	○	長尺65m巻き（H：万国旗型）、合成繊維製、焼却時有毒ガス発生せず
伊藤商事(株)	タフネルオイルプロッター	○	マット、長尺、万国旗型、リボン状等多種有り
	MAXX マックス	○	セレクト：油吸着材、レスキュー：薬品等水溶性の物も吸着、アメリカ製
	PCN-400	○	
	PIGピグ	○	アメリカ製、ISO取得のアドバイスもあり
	3M	○	
	カクイオイルキャッチャー	○	天然繊維が原料、化学繊維製に比べ吸着量に優れる
	ACライト		油・液体吸収材、高温で焼いたスポンジ状の円柱形多孔質セラミックス
	オイルスポンジ		油・液体吸収材、有機生分解性粉末油吸着材、こぼれた油にかけて集めて捨てるだけ、あとはバクテリアが生分解する
	アブソライト		油・液体吸収材、シート型、低粘度で揮発性の高い油に有効、油の上に置くだけ
上野マリンサービス(株)	三井石化科学製	○	吸着マット、長尺、万国旗型
(株)エクセノヤマミズ	スーパーアタック	○	マット、長尺
	タフネル	○	マット、長尺 万国旗型
	Cマット	○	天然繊維（綿）
(株)小名浜油送	タフネルオイルプロッター	○	マット、万国旗型、焼却時有毒ガスが発生しない
鹿島埠頭(株)	カポックエース	○	

会社名	商品名	型式承認	内容・特徴
(株)カナエ	もりの木太郎P-557	○	吸着フェンス、万国旗型、専用ネット、原材料が木材(間伐材)で環境に優しい、水をほとんど吸わない、エコマーク認定品
	カクイオイルキャッチャーP-506、507、521	○	ロールタイプ、バルクタイプ、チューブタイプ、ノレンタイプ、シートタイプがあり天然繊維で優れた吸着性(自重の30倍を有す)、高濃度、高精度に対応
	α Gel-1000マットP-526	○	油だけを吸着するゲル化マット、粉末油ゲル化剤を使い易いマット状に加工、素早く吸油・ゲル化、回収しやすく環境に優しい
光和興業(株)	タフネル	○	マット、万国旗型、オイルフェンス状
	レオマット	○	マット
	Cマット	○	マット
酒田曳船(株)	タフネルオイルプロッターBL-65		シート状
	東レAタイプWOSEP		シート状
	カクイオイルキャッチャー		シート状
(株)城南電器工業所	アブラトールF M-30、M-50K	○	座布団状、新聞古紙を縮状にしたリサイクル商品、グリーンマーク取得
	アブラトールF M-50、M-30		座布団状、新聞古紙を縮状にしたリサイクル商品、グリーンマーク取得
	アブラトールF P-65、P-50		マット状、ポリプロピレン
西部マリン・サービス(株)	タフネルオイルプロッター	○	マット、ロール、万国旗型
ソーワエンジニアリング(株)	タフネルオイルプロッター	○	マット、短冊形、万国旗型、網目いフェンス式
第一衛材(株)	油トリマンS-MK4565	○	マット45×65、15kg/ケース、天然繊維主材、焼却時有毒ガス発生しない、船舶搭載用
	油トリマン(陸上用M)		マット45×55、9.5Kg/ケース、天然繊維主材、焼却時有毒ガス発生しない、一般産業用
	油トリマン(陸上用MP)		マット45×55、9.5Kg/ケース、片面ポリエチレン付き、一般産業用
	油トリマン(陸上用S)		マット45×36、7.2Kg/ケース、天然繊維主材、焼却時有毒ガス発生しない、一般産業用
(株)ダイソーコーポレーション千葉支店	タフネルオイルプロッター	○	マット状、ロール状、万国旗状、片面ラミネート品、チューブ状、リボン状、オイルフェンス状、ピロー状
	オイルスキミングネットOSN-2		C重油、原油など高粘度油の回収、軽量、容積が小さい、波荒場所でも効果的吸着、回収
タカハ商事(株)	KFOマット(P-485)	○	マット、ロール、ポリエチレンとポリプロピレン繊維、高親油性で油質だけを吸着、焼却時有毒ガスが発生しない、一般タイプ
	KFO-II(P-491)	○	マット、ロール、ポリエチレンとポリプロピレン繊維、焼却時、有毒ガスが発生しない、備蓄タイプ
	KFOソフトH(P-517)	○	マット、ロール、ポリエチレンとポリプロピレン繊維、高親油性で油質だけを吸着、焼却時、有毒ガスが発生しない、ソフトタイプ
(株)タナカ商事	マットMPW-45	○	間伐材を利用した木質系油吸着材で鉱・植物油を20~30倍吸着、使用後の焼却処分時の温度が比較的低く、有害なガス及び悪臭が発生しない、連結可能、C重油以外は吸着する
	FB60		同上、万国旗型

会社名	商品名	型式承認	内容・特徴
寺田タカロン(株)安城工場	カポックエース	○	フェルト、厚み7mm、天然繊維主体、焼却時有毒ガス発生しない
東レ・ファインケミカル(株)	ウォセップAタイプ	○	ポリプロピレン製不織布、カット品、ロール品、10mm厚、吸着能力大、焼却時有毒ガスが発生しない
	ウォセップBタイプ		ポリプロピレン製不織布、カット品、ロール品
	ウォセップCタイプ、Dタイプ	○	ポリプロピレン製不織布、カット品、ロール品
	ウォセップEタイプ		ポリプロピレン製不織布、サイコロ状、うどん状
苫小牧海運株式会社	出光ルブリッタ500S	○	マット
日本油化工業(株)	タフネルオイルプロッター	○	マット、他いろいろ
	帝人オルソープ	○	マット、他いろいろ
(株)ネオス	タフネルBL-65、F、6500	○	シート型、万国旗型、ロール型
	タフネルS-50		吸着型油捕獲タイプ
	オイルスキミングネット		油回収ネット
	オイルスネア		高粘度油捕獲材
(株)パーカーコーポレーション	Cマット		
平成ポリマー(株)、ダン産業(株)	M5010K	○	マット状、ポリプロピレン解繊体、吸油量大、柔軟性有り、手で短冊状に引き裂き可、流出油用、油ふき取り用
	M5010		同上
防災特殊曳船(株)	BL-F	○	万国旗タイプ
松本興産(株)	タフネルオイルプロッターBL-65	○	マット、長尺、万国旗型
(株)ユウホウ	TKN50CL、65CL、65RS	○	マット状 (RS:ロール状)、天然繊維系、主成分綿、エコマーク取得、合成繊維より吸油性能が高く焼却時の発熱量45%と低い
ユニセル(株)	オルソープBF-OL01、OL03	○	マット (50cm角)、(OL03:ロール状、50cm、100cm幅)、油吸着性能 (B重油) が白重の20倍以上と高い

② 油ゲル化剤

会社名	商品名	型式承認	内容・特徴
阿南電機株式会社	ラバライザー	○	粒状、米国ハズマツト・レスポンス・テクノロジー社、石油から精製された炭化水素ポリマーが材料、石油との親油性が高く素早く吸着凝固させる
(株)アルファジャパン	P-526アルファゲル1000		粉末型、油だけを吸収、水に浮く、有害危険物(HNS)にも効果あり、焼却時有毒ガスの発生無し、砂浜等も対応可
	P-527アルファゲル1650		同上
伊藤商事(株)	アルファゲル1000	○	主に軽質の鉱物油に有効
	アルファゲル1650	○	主に重質油、潤滑油に有効
(株)小名浜油送	アルファゲル	○	粉末型、油だけを吸収、水に浮かぶ
(株)カナエ	α Gel	○	粉末、常温で油・溶剤等を攪拌しないで強力ゲル化し、水に沈まず、処理を容易にする粉末材、素早く吸油・ゲル化、回収しやすく環境に優しい
(株)共栄社	エコポリイ P-1000A	○	粉末型、油だけを吸収、水に浮かぶ、焼却時の有毒ガス発生抑制、ケミカル対応可
ソーワエンジニアリング(株)	ネオスジェリーロック	○	液体型ゲル化剤、バラスト油混入時に効果大
(株)テスコ	カクタスオイルハードナー-Z1	○	粉末型、油・有機溶剤を吸着しゴム状にゲル化、水に浮かぶ、陸上でも使用可
日本油化工業(株)	カクタスハードナー-Z1	○	粉末型、水に浮かぶ、油のみを吸収

③ 油処理剤

会社名	商品名	型式承認	内容・特徴
相川海運産業(株)	シーグリーン805	○	乳化分散型
	ネオスAB3000	○	乳化分散型
伊藤商事(株)	シーグリーン805	○	乳化分散型
	シーグリーンD-1128		高粘度に対応
	ネオスAB-2000、3000	○	乳化分散型
上野マリンサービス(株)	シェル分散剤LT	○	低毒性白濁分散処理剤
(株)エクセノヤマミズ	ブルークリーン	○	乳化分散型、D-1128、高粘度油向け
(株)小名浜油送	ネオスAB-3000	○	乳化分散型
鹿島埠頭(株)	ユニゾールFL100	○	
呉共同機工(株)第二工場	スーパーエマルジョンDX20	○	低毒性、原油、重油、潤滑廃油対象
光和興業(株)	メールクリーン505	○	乳化分散型
酒田曳船(株)	ネオスAB3000		乳化分散型
	オイルクリーン		乳化分散型
	シーグリーン805		乳化分散型
西部マリン・サービス(株)	ネオス	○	乳化分散型、自己攪拌型
ゼネラルマシズ(株)	HC		水に浮かぶ、水中生物に危害及ぼさない、油膜除去向け、生分解98% (7~10日)
ソーワエンジニアリング(株)	ネオスAB3000他	○	乳化分散型、自己攪拌型
第一工業製薬(株)	シークルN-800	○	乳化分散型
(株)ダイトーコーポレーション千葉支店	シーグリーン805	○	乳化分散型
(株)テスコ 東京事務所	トーホーカクタスクリーンL-10A	○	通常型~2,000cSt、乳化分散型
	トーホーカクタスクリーンD-1128	○	高粘度油用~100,000cSt以上、乳化分散型
	トーホーセルフミキシングS-7	○	自己攪拌型~10,000cSt、乳化分散型
同和化学(株)	S.O.R	○	高い乳化率、海産物に対し高い安全性、引火点高く火災の危険性が少ない、人体に対して毒性、刺激性がない、使用方法が簡単
苫小牧海運株式会社	ユニゾールFL100	○	乳化分散型
日華化学工業(株)	ニッカサンクリーンE-700	○	乳化分散型
	ニッカサンクリーンE-900	○	乳化分散型、高粘度用
日本油化工業(株)	ユニゾールFL (100)	○	乳化分散型
	ユニゾールD-1128	○	高粘度油用
	ユニゾールセルフミキシングS-7	○	自己攪拌型
(株)ネオス	ネオスAB2000、3000	○	通常型
	ネオスD-1128	○	高粘度型
	ネオスセルフミキシングS-7	○	自己攪拌型
(株)パーカーコーポレーション	PK-DLT100		
防災特殊曳船(株)	ネオスAB3000	○	
松本興産(株)	シーグリーン805	○	乳化分散型
	シーグリーンD-1128	○	高粘度型
	シーグリーンセルフミキシングS-7	○	自己攪拌型
松本油脂製薬(株)	シーグリーン805	○	乳化分散型、汎用流出油用
	シーグリーンD-1128	○	高粘度型
	シーグリーンセルフミキシングS-7	○	自己攪拌型

④ オイルフェンス

会社名	商品名	型式承認	内容・特徴
相川海運産業(株)	BS-EP-300S	○	可搬式
伊藤商事(株)	ブリヂストン	○	法令A・B型
	高階救命器具	○	法令A・B型
	中村船具工業	○	法令A・B型
	太田工業	○	法令A・B型
	海和テック	○	法令A・B型
(株)エクセノヤマミズ	OK型	○	法令、A型、B型、常設用
太田工業(株)	OKオイルフェンス	○	A、B型
(株)小名浜油送	ブリヂストン	○	B型
ガデリウス(株)	ヘイスプリントブーム		高速展張ネオプレーン充気式…港湾、沿岸、外洋型
	センチネル・ブーム		ポリウレタンブーム
	ショアガーディアン・ブーム		浅瀬又は干潮時に非常に効果的な流出油取り囲みブーム
(株)カナエ	SK750型、K750型	○	衝立型、軽量で作業効率アップ、保管スペースの縮小化、省スペース、船上での作業性向上
光和興業株式会社	A型、B型	○	20m/本
シバタ工業(株)	A型、B型	○	沿岸、浅瀬に適応
鈴英(株)	SK型		浮沈式、2気室、一体成型
	MS型		フロート部は浮沈式(1気室、2気室)、一体成型
住友電気工業(株)	A型、B型	○	充気式
西部マリン・サービス(株)		○	A型、B型、C型、浮沈式
ソーワエンジニアリング(株)	ブリヂストン	○	EP-200S、EP-300S
(株)ダイトーコーポレーション千葉支店	可搬式オイルフェンス	○	EP200S型、EP300S型、B型、縦型
タナカ商事(株)東京営業所	F5012、F5018		流出油を大量に吸着する簡易型オイルフェンス、長さ5m、連結可能
東洋ゴム工業(株)	TYA-200A、200B、TYB-300A TYB-300B	○	膨脹式
苫小牧海運(株)	可搬式	○	A型、B型
中村船具工業(株)	C3A、C、T	○	水面上200mm、水面下300mm、C3A、C：緊急用、C3T：常設
	E4A、C、T	○	水面上300mm、水面下400mm、E4A、C：緊急用、E4T：常設用
	QA型		水面上110mm、水面下200mm、緊急用
	QB型		水面上160mm、水面下300mm、緊急用
日本油化工業(株)	ブリヂストン	○	A型、B型他
(株)ネオス	ブリヂストンEP200、300	○	A型、B型
	大田工業OK200、300	○	A型、B型
(株)ブリヂストンIPT	可搬式オイルフェンス	○	A型、B型、C型、D型
	浮沈式オイルフェンス		大型、沖合シーバース用
	充気式オイルフェンス	○	オイルフェンスB型、コンテナに巻取機付きで保管、展張時エアーコンプレッサーを使用
松本興産(株)	ナスユE4-A	○	B型

⑤ その他

会社名	商品名	型式承認	内容・特徴
相川海運産業(株)	オイルフェンス巻上げ機		
	オイルフェンス格納庫		
(株)アルファジャパン	油水分離機シンク		液液の分離
ガデリウス(株)	ディスク式油回収スキマー、コマラ12、20、40、50		沿岸港湾河口での流出油回収に対応
	ディスク式油回収スキマー、コマラスター、シーデビル		重質・高粘度油対応
	仮設貯蔵タンク、ファスタタンク		油濁防除作業向け、各種容器タンク有り、最大10T迄
(株)カネヤス	FOILEX油回収機 TDS150、200、250		堰式スキマー 150：30m ³ /h、200：70m ³ /h、250：140m ³ /h
	FOILEX油回収機 ミニスキマー		吸引式スキマー
	ランサーバージB05～B100		バージ、膨脹式一時貯蔵バージ(回収油貯蔵)
	ローリーブラシ、LSC		ブラシコンベア式、高粘度向け
	ローリーブラシ、LMS		ブラシ式ミニスキマー
西部マリン・サービス(株)	オイルフェンス巻取機		全自動式
	油回収用玉網		網部ステンレス製
ゼネラルマシンス(株)	高温・高圧洗浄機、AQUILA		清・海水使用可、車載状態で半径100m洗浄、特に岩礁地帯、岸壁に有効
	可搬エンジンウインチ、HIT-TRAC16B		張力1600kg、ロープ長さ無限、自重42kg、ガソリンエンジン駆動、2人で自在に移動可
	水性膜泡消火剤QF	○	環境に優しい、オランダ政府エコラベル取得(日本政府許認可試験中)
ソーワエンジニアリング(株)	蔵王産業高温高圧洗浄機		清海水使用可、電源、エアー不要、動力、ガソリン、灯油、車輪付き、どこでも持運び、洗浄半径100m以上、テトラ、岩場等車の入り難い場所で使用可
	ウエルデング社ポンプ		重油、ガソリン、高粘度(要加熱)、爆発可燃液体移送全てに使用可能、容量5kl/h～50kl/h、取扱容易、防爆型、狭いところ使用可
	桜川ジェットポンプ		エジェクター付き、処理剤と併行混入可能、海面油防除に効果、小型漁船搭載可
(株)ダイトーコーポレーション千葉支店	展張巻揚げ機		オイルフェンス用、油回収ネット用
	格納台車		オイルフェンス用、油回収ネット用
	オイルフェンス取り付け装置、スライディングジョイント		フローターを利用しオイルフェンスを接続可能
	YS式オイルスキミングウエル		軽量、柄杓による汲み取り用
(株)テトラ	油回収装置、渦流式「シクロネ」		船側に搭載、船の進行で生じる相対流を利用し油を回収、単胴船、双胴船対応機種有り、清掃・浚渫船との兼用可、大型～小型船対応、高粘度油適応
	閉鎖水域用油回収装置フロート式「クリオネ」		船又は岸壁より油濁水域に投入し油の回収作業を行う装置、高粘度油、寒冷海域適応
(株)西村組	油回収バケット		発注後3ヶ月、特許出願2000-131323

会社名	商品名	型式承認	内容・特徴
(株)マツイ	オイルスキマー LAMOR GT		堰式、横型アルキメデススクリュウ型ポンプで1,000,000cSt以下のあらゆるタイプの油対応 (20～125m ³ /h)
	オイルスキマー NORMAR		堰式、100～250m ³ /hの大容量スキマー、スキマーハンドリング装置も装備
	オイルスキマー LAMOR MINIMAX シリーズ		ディスクブラシ式、回収油の含水率が5%程度と低く効率がよい、回収油タンクを小型化できる
	オイルスキマー LAMOR オフショア-400		ブラシ式、大型外洋フローティングスキマー (400m ³ /h)
	オイルスキマー ユニセツプ F560		ドラムタイプ、ハンディータイプ、自己完結型 (小型で海岸線に集まった油を回収)、海岸線清掃に威力を発揮
	オイルスキマー フォックステールオイルスキマー		モップ吊り下げ式、船上からの揺動を受けずに油の回収が出来る、回収油の含水率が低い
	集油ブーム付ブラシスキマー LAMOR ビルトインシステム		船舶に設計段階から装備し、回収油を船内に取り込む
	集油ブーム付ブラシスキマー LAMOR オーバーサイドシステム		集油ブームとブラシスキマーを船舷に装備するシステム
	集油ブーム付ブラシスキマー LAMOR バウコレクター		集油ブームとブラシスキマーを船首に装備するシステム
	オイルブーム NOFI カレントバスター		充気式、世界最速 (4ノット) の集油ブーム
	オイルブーム NOFI ブイスイープ		充気式、V字型に展張する集油ブーム (オイルスキマーの能力を発揮するには集油が重要)
	オイルブーム NOFI ブームバック		高速曳航、展張型オイルブーム (50馬力以上の漁船などで素早くオイルフェンスを展張、緊急対応に最適)、専用船でなくても展張が出来る
	オイルブーム NOFI スピルレイダー		一点充気式 (最少人数での展張が可能)
	NOFI 外洋型ブーム1000シリーズ		充気式外洋型の大型ブーム
	オイルブーム LAMOR ウルトラライトブーム		軽量型ブームで使い捨てタイプ
	オイルブーム LAMOR ヘビーデューティーブーム		外洋型充気式ブーム
	オイルバージ NOFI		充気式、回収油を貯蔵する曳航式バージ (25～75t)
	折り畳み式回収油タンク LAMOR		回収油を貯蔵する折り畳み式の角形タンク
	自動ブーム展張システム NOREN EBOSシステム		アウトリガーと集油ブームを自動展張、世界初全自動ブーム展張システム
	LAMOR 自動式ブーム洗浄装置		使用後のブームを自動的に洗浄するシステム
	砂洗浄装置 LAMOR サンドウオッシャー		油で汚れた砂を洗浄する装置
	岩面洗浄装置 LAMOR ロッククリーナー		ハンディータイプのブラシスキマーで油に汚れた岩を清掃
	資機材貯蔵用コンテナ		資機材保管用にISO規格の10、20、40フィートコンテナ

相川海運産業株式会社

〒260-0832 千葉市中央区寒川町1-114

Tel 043-224-1160 代 Fax 043-224-3695

業務内容

(株) ダイソーコーポレーション傘下での海洋環境保全にかかる海洋汚染予防措置と防災船艇を主体とした、油防除作業及び指導業務。

油防除資機材の研究開発及び製造と設置工事指導。

海上災害防止センター及び漁場油濁被害救済基金と共同開発の油導入式浮枠の製作、販売。

三井化学(株)製品 帯状吸着マット、Z状マット(共同開発) その他吸着材の販売
(タフネル オイルプロッター)

オイルスキミングネット OSN-2

(海上災害防止センターとの共同開発)



仕様

長さ	1本 10m
重量	13kg (ポリプロピレン) 11kg (植物繊維)
ネット	4ミリ角、ポリエチレン製
浮体	発泡ポリエチレンシート
吸着材	帯状吸着マット (ポリプロピレン製・植物繊維製)
錐	5ミリチェーン
ロープ	10ミリロープが上部袋内を貫通
梱包	ポリエチレン製(2本入り) 0.95m×0.75m×0.55m=0.391m ³

特徴

袋から10m引き出した状態

- 1本長さ10m 幅 約50cm
- 1本 13kg (ポリプロピレン)
11kg (植物繊維)

発売元 相川海運産業株式会社

考案者 防災実務者 坂本由之

平成10年8月16~19日千葉県飯岡海岸へC重油漂着の際、油回収ネット3,050mで効果的に防除した(ビーチセーバーにより展張した)



- (1) C重油、ムース化原油など高粘度の広域拡散油回収に最適
- (2) 軽量で容積がB型オイルフェンスの1/6であるから、2名で展張回収が可能
- (3) 浮力が大であるから、水面上の油は勿論、水面下のムース化した油及び油付着のごみを捕捉。
 - a. 長期間展張しても沈まない
 - b. 小型艇2隻で油を包囲曳航可能(2ノット以下なら中央部も沈まない)
 - c. 上部網内に10ミリロープと網下部に5ミリチェーンを付けているから引っ張り強度1トン以上
 - d. 水面下が4ミリ角の網であるから潮流の速い海域や養殖場、河川等でも渦流がおこらないから、油が下から逃げない。
 - e. テトラポット、岩場並びに取水口前面の防衛に最適
 - f. 容積が小さく重量が軽いので、最終焼却処理費はB型オイルフェンスの1/10以下である。

平成11年12月1日、対馬に於ける油濁基金研修会



歩行困難な対岸へエンドレスロープにより帯状マットを2名で展張

平成14年10月18日隠岐における油濁基金研修会



広域拡散油を護岸隅へ追い込み回収 ネット内外の波紋を比較すれば油の捕捉が明瞭



ナホトカ号のムース化重油が東尋坊の水族館取水口前に漂着 ナホトカ関係で使用した油回収ネット計4,400m

油回収ネットのみで防除作業を実施し、効果大であった



コーペンチャー号で使用した油回収ネット計1,700m

東扇島の船溜りへ流入した漂着油防除のため エンドレスロープ(矢印)を設置



油導入式浮枠をユニックで投入後2名で展張と追い込み回収したダイヤモンド、グレイス号関係で使用した油回収ネット1,500m



大島での座礁線“ファル・ヨーロッパ号”で使用した油回収ネット計800m

株式会社 ダイソーコーポレーション 千葉支店
防災グループ

千葉市中央区中央港1丁目9番5号
TEL：043-238-5113

業務内容

1. 全国内航タンカー海運組合千葉基地
2. 海上災害防止センター千葉基地 (排出油防除資材備付)
3. 石油コンビナート等災害防止法にもとづく海上共同防災協議会からの受託業務
 - (1)千葉地区海上共同防災協議会 (6事業所)
 - (2)市原・袖ヶ浦地区海上共同防災協議会 (22事業所)
 - (3)市川・船橋地区海上共同防災協議会 (6事業所)
4. オイルフェンス展張、漏油処理、危険物船荷役警戒、海難救助作業



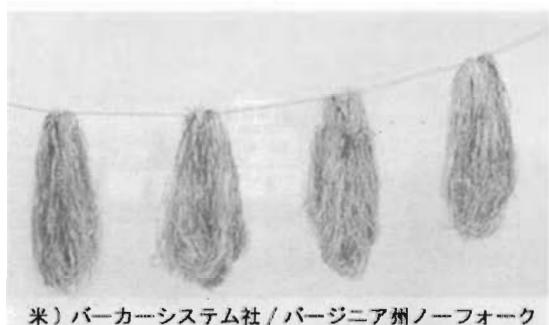
米国製 最先端油回収技術！！

●流出事故においては、『簡単に』『素早く』『効率的に』回収することが重要です。

●油には潤滑油、A重油、ガソリン等の低・中粘度油及び、C重油などの高粘度油があり、それぞれに適した資機材にて効率的に回収することが重要です。

高粘度（C重油）なら

オイルスネアー



(米)パーカーシステム社 / バージニア州ノーフォーク

◆特長

- 高粘度油を絡め取り回収
- 囲い込みによる回収
- 岩場・テトラポット等入り組んだ場所での油の除去
- 定置網・養殖場での油の防除
- タンク等に付着した油の除去等



平成9年ナホトカ号事故現場
(オイルスネアーによるC重油の囲い込み)

低・中粘度油（潤滑油・A重油・ガソリン等）なら

ラバライザー



(米)HAZ-MAT社 / カリフォルニア州サンディエゴ

◆特長

- 石油系を素早く強力に吸着・凝固
- 用途に合わせてチューブ状、マット状、粒状
- 水を全く吸わないので待ち受けによる油回収も可能 ビルジの回収、フィルターとしても最適



原子力発電所におけるラバライザー展張

日本総代理店

阿南電機株式会社

〒530-0041 大阪市北区天神橋 3-6-26 (扇町パークビル)

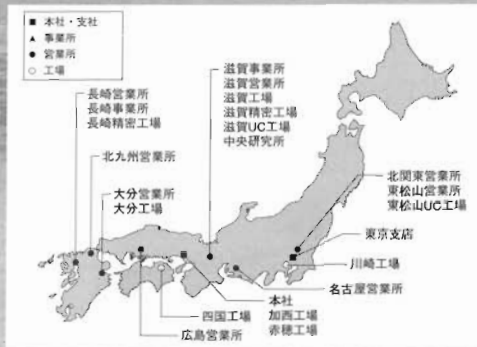
TEL 06-6353-6640 FAX 06-6353-6615

URL <http://www.anandenki.co.jp> E-mail fujiwara@anandenki.co.jp



流出油処理剤

品名	用途	型式承認番号
ネオス AB-3000	乳化分散型油処理剤 ○微毒性	第P-258号
ネオス AB-2000	乳化分散型油処理剤 ○超微毒性	第P-257号
ネオス D-1128	乳化分散型油処理剤 ○超微毒性 ○高粘度油用	第P-553号
ネオス セル7・ミシグ S-7	乳化分散型油処理剤 ○自己攪拌型	第P-573号



本社
〒650-0001 神戸市中央区加納町6-2-1
(神戸関電ビル7階)
TEL (078) 331-9381 FAX (078) 331-9318

支店
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
(黒龍芝公園ビル7階)
TEL (03) 3434-7821 FAX (03) 3434-7897

北関東：TEL (048) 501-0681 FAX (048) 527-0423
名古屋：TEL (052) 563-3871 FAX (052) 561-6965
滋賀：TEL (0748) 75-2081 FAX (0748) 75-1329
広島：TEL (082) 234-8144 FAX (082) 234-8141
営業所 北九州：TEL (093) 551-1581 FAX (093) 521-0087

NEOS 株式会社 ネオス



ちきゅうにやさしい!

グリーン購入に最適!

綿繊維系 オイルキャッチャー 『C-マット』

認定番号
第 98051021 号

C-マットの主原料は、天然の綿花。綿繊維は合成繊維と違い半永久的な資源です。

C-マットは、綿の天然撥水効果で、水はほとんど吸いませぬので、油を選択的に吸着できます。

C-マットは、合成繊維製品に比べて、焼却時の燃焼発熱量が半分以下であるため、焼却炉への負担を軽減できます。

■ C-マット規格

国土交通省型式承認番号	銘柄 (品番)	サイズ
第P-465	東洋紡 C-マット 50-YH (TKN-50CL-YH)	50cm角
第P-466	東洋紡 C-マット 65-YH (TKN-65CL-YH)	65cm角
	東洋紡 C-マット 65-RS (TKN-65RS)	65cm×25m巻



YUHO 株式会社 ユウホウ 不織布事業部

〒530-0003 大阪市北区堂島2丁目1番16号 フジタ東洋紡ビル7F

TEL 06-6348-4315 FAX 06-6348-4309





鹿児島県志布志湾で座礁折損した大型運搬船

志布志湾でトウモロコシを荷揚げしていたパナマ船籍のコーペンチャー号が、台風9号を避けるため湾内に避泊していたところ、浅瀬に乗り上げ船体が真二つになりました。これは、油流出を防ぐため油吸着材で船体を囲っている写真です。
この事故で船員4人と油の抜き取り作業をしていた2人の方が亡くなりました。(写真提供：坂本由之氏)

(編集後記)

◎あけましておめでとうございます。本年も油濁基金をよろしくお願い致します。

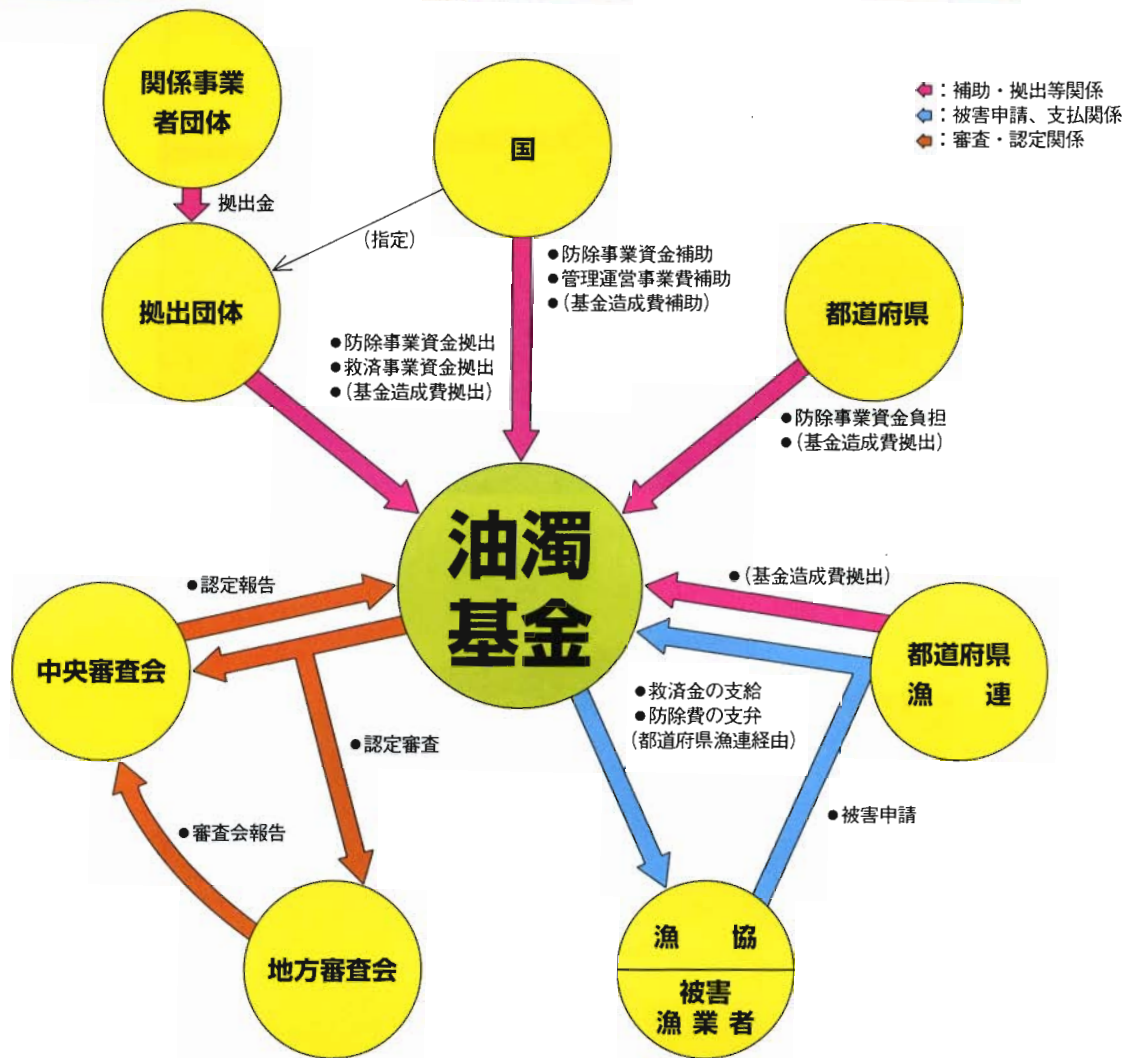
◎昨年は、ノーベル賞のダブル受賞等の明るい話題もありましたが、株価がバブル以降最安値を付けるなど暗い1年でした。油濁事故を見ましても、鹿児島県志布志湾や伊豆大島での大型船の台風による事故、日立港や御前崎沖のPI保険未加入又は非常に低額な船による事故があり大変な年でした。今年こそ、事故も減少し明るい1年になるよう祈っています。

◎基金だよりはこれまで3月と8月に発行していましたが、最近の大型油濁事故の多発に伴い、漁業関係の方々へ海上防災事業者や資機材類の情報を把握していただくため、海上防災事業者・防除資機材特集として1月に発行いたしましたので活用をお願い致します。

また、本特集作成のためご協力下さった関係会社及び海上防災事業者協会にはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

◎PI保険未加入船の関係した御前崎沖の事故での顛末を静岡県農業水産部の石田孝行氏に執筆いただきました。

漁場油濁被害救済制度のしくみ



拠 出 団 体

農 林 水 産 省 関 係
 経 済 産 業 省 関 係

(社) 大日本水産会
 石 油 連 盟
 (社) 日本経済団体連合会
 (社) 日 本 貿 易 会
 日 本 ア ン モ ニ ア 協 会
 (社) 日 本 ガ ス 協 会
 (社) 日 本 船 主 協 会
 日 本 財 団

電 気 事 業 連 合 会
 (社) 日 本 電 機 工 業 会
 (社) 日 本 産 業 機 械 工 業 会
 日 本 化 学 繊 維 協 会

(社) 日 本 鉄 鋼 連 盟
 (社) 日 本 自 動 車 工 業 会
 石 油 化 学 工 業 協 会
 (社) セ メ ン ト 協 会

国 土 交 通 省 関 係

日 本 内 航 海 運 組 合 総 連 合 会

(社) 日 本 旅 客 船 協 会

発 行 日 2003年 1 月
 発 行 所 財 団 法 人 漁 場 油 濁 被 害 救 済 基 金
 住 所 〒101-0047 東 京 都 千 代 田 区 内 神 田 2-1-14
 イ ー ト ピ ア 内 神 田 ビ ル 10 階
 電 話 03-3254-7033
 フ ァ ッ ク ス 03-3254-3978 ㊦
<http://www.jf-net.ne.jp/yudaku/>
 E-mail: yudak@mx.mesh.ne.jp